

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	山崎製パン株式会社	事業所名	埼玉第一工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()	埼玉県東部地域の配送は春日部にある営業所から配送を実施し、走行距離の削減を行っている			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	製品を入れる箱の高さを2寸、4寸、5寸、6寸の4パターンに分類し、製品の形状に合わせて入れる箱を定めて1車両に積み込める量を調整している			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	コンビニエンスと一般個人店舗配送の混載便を作成して配送している。また、パンメーカー4社共同で、大口搬入先(スーパー店舗)の共同配送実施により、1店舗へ搬入する車両を削減している。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	大型スーパー等の荷降し量が多くなる配送コースに対し、4トン車や荷降しゲートを設置した車両を購入している			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	前々日19:00までに店舗様が発注を入れた商品を関東6工場の製造工場に分割して製造し、当日の商品配送出発時間3:00までに当工場へ商品到着するシステムを取っている(本社集中管理)			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	新運行管理(エストラウェブシステム)を導入し、全車両が走行している道路を把握して、渋滞及び通行止め等の情報を車両個々へメッセージとして送信する方法を採用している			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減	コンビニエンスコース、スーパー店コース等の配送時間の違いがある為、0:30~4:00までの間において15分刻みで出勤時間を設定し、出荷バースの混雑削減及びドライバーの労務管理も行っている。※出荷遅れが見込まれる時は、担当者へ出勤時間変更案内	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ()	商品お届け先が小規模の配送先に対し、毎日お届けしているものを週3回のお届けに変更して頂き、走行距離の削減に取り組んでいる	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	ハイブリッド車、アドブルー使用車両の増加を推進していく	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	自社運行管理日報による一般道55km、高速道80km以下での走行を把握し、また、違反した場合は運行管理店数100点から減点されるシステムを取り、違反者への指導を実施	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	毎月の委託事業者担当者定例会議を通じ、アイドリングストップ及びエコドライブ推進の状況確認を実施している	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	アイドリングストップ車両を採用(現在80%)している。また、商品荷降し場所へ駐車する際は、エンジンキーをワイヤーで腰ベルトとつなぎエンジン停止を徹底している	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	ヤマザキグループ関連会社との連携を密に取る為、工場内に関連会社事務所を設け、工場間商品移動等の情報共有を実施している	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	自社配送車両(73台)に設置している運行管理システム(エストラウェブ)により経済運転面、安全運転面の両面からドライバー管理を実施している	○	○	○
----------------------------------	--	---	---	---